

「修飾」という考え方 <ページ4>

◆現在分詞・過去分詞を使う「修飾」について、さらに知っておいてほしい文法。

a boy running in the park (公園で走っている男の子)

↑

↑

英語は 名詞 修飾部 という形 / 日本語は 修飾部 名詞 という形

ここまでは、前のプリントで学んだ内容だね。

では、

a running boy (走っている男の子)

…おや？

a running boy 走っている男の子 … 英語も日本語も、修飾部 名詞 という形だね？

(・▽・) < 何だ何だ？ 何が違うっていうんだ？

もう少しいろいろ比べてみましょう。

{	a dog swimming in the river (その川で泳いでいる犬)
{	a swimming dog (泳いでいる犬)

{	a window broken by him (彼によって壊された窓)
{	a broken window (壊された窓)

{	a book translated into Japanese (日本語に翻訳された本)
{	a translated book (翻訳された本) ※translate(トランスレイト) = 翻訳する

(^▽^) < …そう！

・現在分詞や過去分詞「だけ」で名詞を修飾すると、英語も日本語も 修飾部 名詞 という形！

・現在分詞や過去分詞だけでなく、「その川で」とか「彼によって」とか「日本語に」とか「他の語句」も修飾部に入っている場合は、

英語は 名詞 修飾部 という形 / 日本語は 修飾部 名詞 という形！

…なるほど～。(ー▽ー)納得。

英語は、修飾部が多くなる(現在分詞・過去分詞以外の語句も入ってくる)と、

まとめてよいしょと後ろに行っちゃうわけだね！

{	a boy running in the park (公園で走っている 男の子)
{	a running boy (走っている 男の子)

この違い、この形、それぞれしっかり覚えておいてくださいね♪

【ミニ練習問題】 次の日本語を英語に直しなさい。

- (1) その歌っている女の子 ()
- (2) 教室の中で歌っているその女の子 ()
- (3) その歌っている女の子は、私の友達です。
()